

県立近代美術館 葉山

企画展「1950年代の日本美術―戦後の出発点」 *会期 3月26日(日)まで

同時開催「コレクション展3 反映の宇宙 特集：上田薫」

実験工房、アンフォルメル、具体、ルポルタージュ絵画など、1950年代の美術家たちの動向を、絵画、彫刻、記録映像を通して、現代に生きる我々の眼で見つめ直します。

●学芸員によるギャラリー・トーク

2月11日(土・祝)※申込み不要、無料(要観覧券)

「コレクション展3」13時～13時30分

「1950年代の日本美術」14時～14時30分

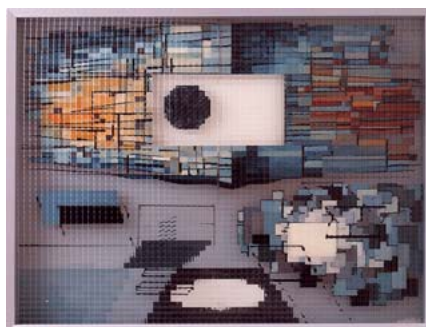
●ワークショップ ※要申込み、詳しくは美術館ウェブサイトへ

「モバイルをつくる」2月5日(日)13時～16時

「フォトグラムをつくる」2月12日(日)13時～15時

「土ねんどで描く」2月25日(土)13時～15時

【休館日】毎週月曜日 【問合せ】県立近代美術館 葉山 ☎875-2800



▲山口勝弘《ヴィトリーヌNo.47
(完全分析方法による風景画)》
1955年 東京国立近代美術館蔵

成人式のお祝いのスピーチ。私にとっては、毎年特に考え、緊張する仕事の一つです。ハタチにとって、人生で一度きりの成人式。久しぶりに集う仲間たちとの貴重な時間。「子育て」の大きな節目。昨年は人生の素晴らしさを伝えたくて、自分の失恋の話をしました。するとスピーチ中に急に恥ずかしくなってきた、頭が真っ白になってしまいました……。

そこで今年も成人式実行委員の皆さんに「何か要望があれば」と伺いました。すると、驚きの回答をいただきました。一つは「仕事の厳しさ」について。もう一つは「葉山愛」について。えっ？

町長と葉山のはなし

葉山町長 山梨崇仁コラム

Vol.31 最近の若者は…立派
―葉山町成人式―



私も今年2度目の成人式の年40歳になります
(写真：成人式実行委員の皆さんと)

ハタチの若者は青春真っただ中。自分のことだけで精一杯な年頃のはずが、ふるさとへの愛について聞きたいとは！

予想外の「葉山愛」という提案に、葉山の若者の誠実さ、豊かな感性にスピーチの前から感動してしまいました。ハタチの若者さえ魅了するこの葉山の地力の強さ、素晴らしさに。

当日は私なりの愛を全力でお伝えさせていただきましたが、式の進行は厳かで素晴らしく、私が彼らに背筋を伸ばしてもらった気さえしました。葉山愛に溢れる289人の立派な新成人の皆さんの輝かしい未来に、栄光あれ。